

科目名	特殊講義（北海道創生プログラムA）	科目コード	1539	単位数	2
担当者名	複数担当教員	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次

● **授業のねらい**

われわれが生活しているこれからの北海道の在り方を構想するための講義である。各分野の専門家とともに北海道の将来構想をデザインする。講義において論じられた諸問題については、講師陣一同が会して総括討議（シンポジウム形式）を行うなど、アクティブ・ラーニング型の授業形態を取り入れる。

● **到達目標**

北海道の将来に通じる構想を北海道に居住する者たちが共有することで、自分たちが生活する地域の価値と自分たちの生活のありようを自覚させる。

● **授業内容**

- 1週目 北海道の交通システム 在来システムの課題（担当）佐藤（馨）
- 2週目 北海道新幹線の課題（担当）佐藤（馨）
- 3週目 北海道の航空輸送システム 在来システムの課題（担当）中添
- 4週目 丘珠空港の活用とその意義（担当）中添
- 5週目 北海道における港湾整備の現状と課題（担当）関口
- 6週目 北海道の港湾計画の課題と意義（担当）関口
- 7週目 地域活性化の処方箋から見る北海道（担当）山崎
- 8週目 北海道における産業の芽とその課題（担当）山崎
- 9週目 産業と市場アクセスの課題（担当）谷藤
- 10週目 「石狩開発」の現状と課題（担当）谷藤
- 11週目 北海道の除雪の現状と課題（担当）佐藤（正）
- 12週目 札幌の除雪と交通の諸問題（担当）佐藤（正）
- 13週目 北海道と海外市場の現状と課題（担当）西川
- 14週目 北海道の市場開拓とアジア（担当）西川
- 15週目 北海道の将来構想 討議と総括（担当）全員
- 16週目 北海道の将来構想 討議と総括（担当）全員

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

予習については、特になし。各講義では、質問時間を設けるので、多くの質問ができるように心がけること。

● **成績評価の方法・基準**

通常の講義と同じ（出席する義務）。各講義で、担当講師は、課題を出す場合があり、14週目の講義の際に、その課題ないしそれぞれの講義についてのレポートを提出すること。最後の講義で、試験を行う。

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

特になし。外部講師陣による授業なので、商科大生として恥ずかしくない態度で講義に臨むことを義務付ける。

● **テキスト**

特になし。

● **参考書**

各自、自由に選択すること。北海道経済に関するものなら、何でもよい。

● **更新日付**

2019/02/04 01:43